

# 独立プロ名画「みんなわが子」鑑賞会

解説 本田勝利氏

とき 11月14日(日)  
13時30分上映 13時開場

ところ エルパーク仙台(141ビル)  
ギャラリーホール(6F)

参加費 500円

監督 家城巳代治

製作 中山 旦 青山敏夫

出演 中原ひとみ 桑山正一 北林谷栄 赤木蘭子 真山知子

[かいせつ]

太平洋戦争末期、都会の子ども達は田舎へと疎開させられた。この映画は東京目黒区の月光原小学校の生徒・先生の学童疎開の手記を元に、植草圭之助がその子ども達の生活をリアルにシナリオ化したものである。

戦争によって屈折した子ども達の生活を真正面からとらえ、子ども達の苦しみ、悲しみ、辛さが初めて描かれた作品である。

[物語]

昭和19年夏、山梨に疎開した子ども達。遠足気分で行ったそこでの想像を絶する辛く長い日々。

空襲が激しくなり、子ども達はさらに山奥に疎開するが、体が弱く残留した子ども達は空爆で死んでしまう。先生は食料確保のため買い出しをするがなかなか手に入らない。想像を絶する辛い日々を経て、ようやく戦争が終わる。茫然自失の教師たちだが、子ども達はミコシをかついで新しい時代の幕開けを喜ぶ。



企画 婦人民主クラブ宮城県支部協議会  
仙台市若林区荒町58

TEL FAX 022-221-9811

主催 男女共同参画推進  
せんだいフォーラム2010  
運営委員会  
(財)せんだい男女共同参画財団

☆ 憲法九条を変えて戦争参加を合法化することを目的とした国民投票法が施行されました。

戦後65年、憲法九条を持つ国として、まがりなりにも平和が守られてきましたが、戦争できる国に変わった時、私たちは否応なしに戦争に巻き込まれることとなります。

平和でこそ幸せに生きることが出来る。平和を願う一人一人の思いが集まり、運動となりそれを続けることで平和が守られます。改めて戦争と平和について考えてみましょう。

託児について

6ヶ月以上、小学1年生まで  
子ども1人、一回300円

(しょうがいのあるお子さんもお相談下さい。)

11月4日(木) 先着順、定員になり次第締切  
申込先 エル・ソーラ仙台

TEL022-268-8044 FAX022-268-8045